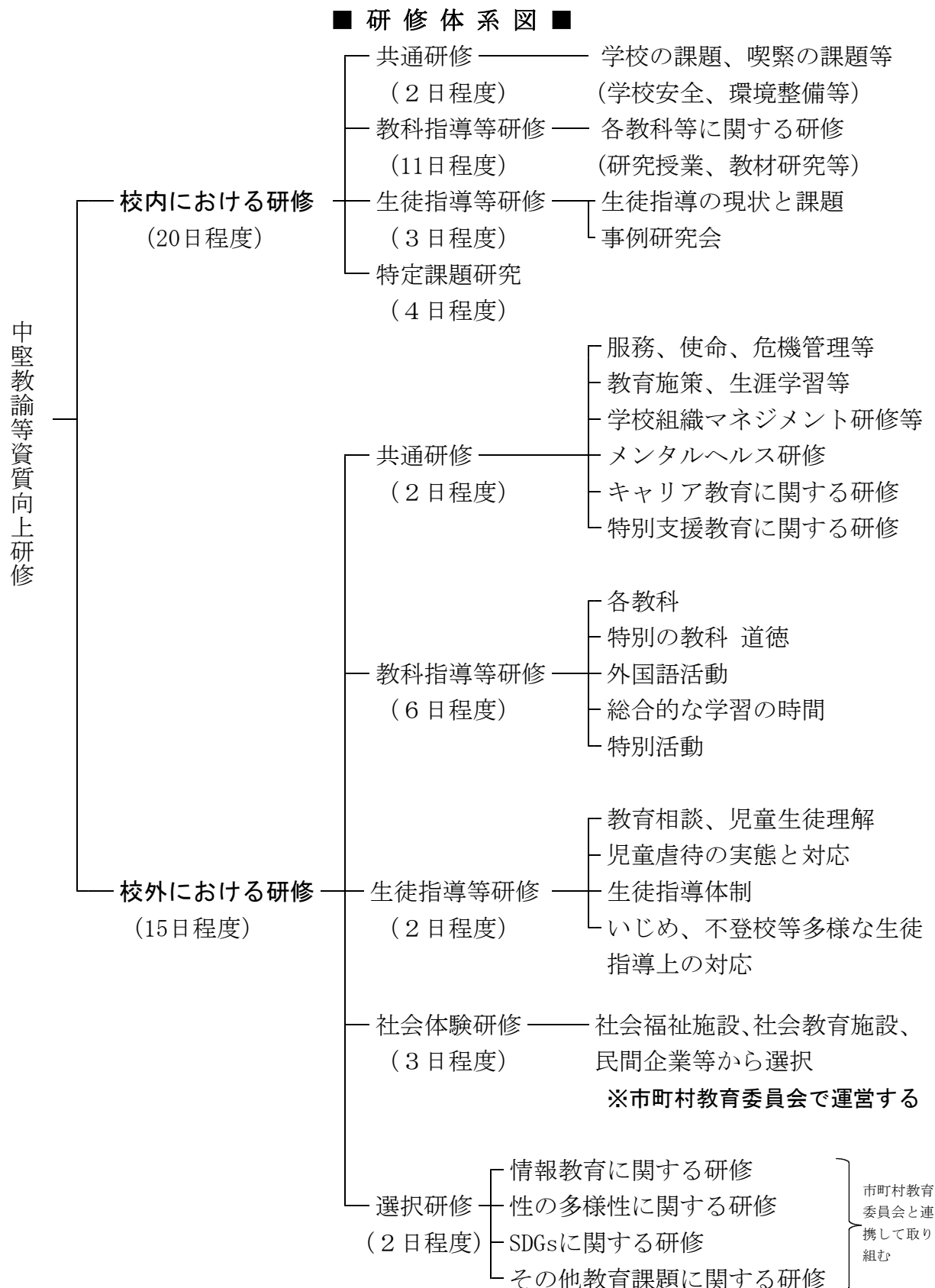


IV 中堅教諭等資質向上研修の内容

研修教員は1年間、校内において校長等からの指導助言による研修を年間20日程度受けるとともに、校外において教育事務所や市町村教育委員会が実施する研修を15日程度受けることになる。



1 校内における研修（20日程度）

主として、校内で校長の下、実際の授業実践を通じた研究授業や教材研究、事例研究、特定課題研究等の研修を実施する。

校内の研修は、授業を担当していない時間等を活用して2時間程度、計画的に実施する。

研究授業における指導主事要請は、1回は教育事務所の指導主事等を、1回は市町村教育委員会の指導主事等を招聘する。残りは、校長、教頭等が指導助言を行う。

指導案作成等の研修日を確保し、教材分析や指導法の研究、教材・教具作りなど、その教科の指導に優れた教員等で指導し、積極的に校長、教頭等も指導助言を行う。

学校規模、教科等の関係でやむを得ない場合は、他校における研修も認める。その日数は5日程度とする。

生徒指導等の研修は、生徒指導等の現状と課題について生徒指導主事等の担当者と協議し、対応策を考える。いじめや不登校等、様々な生徒指導上の課題について、生徒指導部会、教育相談部会や学年部会等で事例研究を行う。

特定課題研究は、夏季休業期間中の研修等を踏まえ、指導方法や教材に関するテーマを決める。特定のテーマについて、校長、教頭等から指導を受けながら研究を進め、教育研究論文としてまとめる。年度末（2月～3月）の報告会を校内研修に位置づけ、全職員が参加し、校長、教頭等が指導助言を行う。

(1) 共通研修（2日程度）

- ① 学校評価、学校運営等に関する基礎・基本的な研修
- ② 校内での中堅教諭としての使命・役割、危機管理等
- ③ 学校安全（安全教育、安全管理）、環境整備、防災教育等

(2) 教科指導等研修（11日程度）

① 研究授業（2日程度）

教科または特別支援学級等における自立活動1回(中学校は担当教科で実施)、特別の教科 道徳・特別活動1回の研究授業と授業研究会による研修

※特別支援学級等における自立活動の実践については、教科として位置付ける。

② 教材研究等（9日程度）

教材分析や指導法の研究、教材・教具作り等の研修

(3) 生徒指導等研修（3日程度）

- ① 生徒指導の現状と課題についての対応策
- ② 事例研究会による研修
(例)
 - ア 不登校に係る事例研究
 - イ いじめ等問題行動に係る事例研究
 - ウ 教育相談等に係る事例研究

(4) 特定課題研究（4日程度）

① テーマについて

日常の教育実践の中で、「確かな学力の向上を図りたい」、「思考力、判断力、表現力を身に付けさせたい」、また「児童生徒の自ら学ぶ意欲を高めたい」等の問題意識を持ち、下記の内容（例）をテーマに設定する。

ア 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、特別支援学級等における自立活動の実践に関すること

イ 生徒指導等に関すること

ウ 学級経営、教科経営等に関すること

エ 教材・教具の開発に関すること

② テーマ設定後は、「様式E 特定課題研究テーマ報告書」を作成する。

③ 様式については、「様式F 特定課題研究報告書」を参考にする。

④ 研修教員は、校長、教頭等から指導を受け、報告書としてまとめる。

※必要に応じて、市町村教育委員会や教育事務所の指導主事から助言を仰ぐこと。

⑤ 報告書は、読み手にわかりやすく伝える工夫等をし、A4用紙6枚に簡潔明瞭にまとめること。なお、提出の際は、両面印刷で3枚とする。

※提出前に、校内における「報告会」を開催し、校内の教職員への課題の共有化を図る。

⑥ 中堅教諭等資質向上研修「特定課題研究の報告会」の実施

ア 時 期……2月～3月（年度末）

イ 指導助言者……校内研修（校長、教頭等）

校外研修（教育事務所等指導主事）

2 校外における研修（15日程度）

主として、教育事務所や市町村教育委員会において、教科指導等や生徒指導等に関する研修を実施する。指導主事やベテラン教員等を講師として、教科等ごとに分かれたり、少人数による、模擬授業、教材研究、事例研究会等を実施する。

社会体験研修は市町村教育委員会が実施する。社会福祉施設、社会教育施設、民間企業等を活用して、介護体験研修、企業体験研修等から選択する。

研修教員の適性に応じた選択研修は、豊富な選択分野になるよう配慮し、教育事務所と市町村教育委員会が連携して取り組む。（選択研修の内容例は、P29を参照）

その他教育課題に関する研修とは、国際理解教育、環境教育、平和教育、金銭教育、地域教育資源を活用した研修、喫緊の課題等が考えられる。市町村教育委員会及び教育事務所において研修内容の工夫、充実を図ること。

(1) 共通研修（2日程度）

- ① 服務、中堅教諭としての使命・役割、危機管理等
- ② 沖縄県の教育施策（沖縄県教育振興基本計画、学校における指導の努力点、学力向上主要施策、生涯学習・社会教育推進の努力点等）
- ③ 学校組織マネジメント研修等
- ④ メンタルヘルス研修
- ⑤ キャリア教育に関する研修
- ⑥ 特別支援教育に関する研修

(2) 各教科等の指導研修（6日程度）

- 各教科等の指導方法、授業の進め方、評価等

(3) 生徒指導等研修（2日程度）

- ① 児童生徒理解、教育相談の考え方・進め方の実際
- ② 児童虐待の実態と対応等
- ③ 各学校における生徒指導体制
- ④ いじめ・不登校等、様々な生徒指導上の問題への対応

(4) 社会体験研修（3日程度）…市町村教育委員会で運営

- 社会福祉施設、社会教育施設、民間企業など介護体験研修、奉仕体験、企業体験研修等から選択

(5) 選択研修（2日程度） ※内容例はP29を参照

（例）

- ① 情報教育に関する研修
- ② 性の多様性に関する研修
- ③ SDGsに関する研修
- ④ その他教育課程等に関する研修

V 研修を進めるに当たって

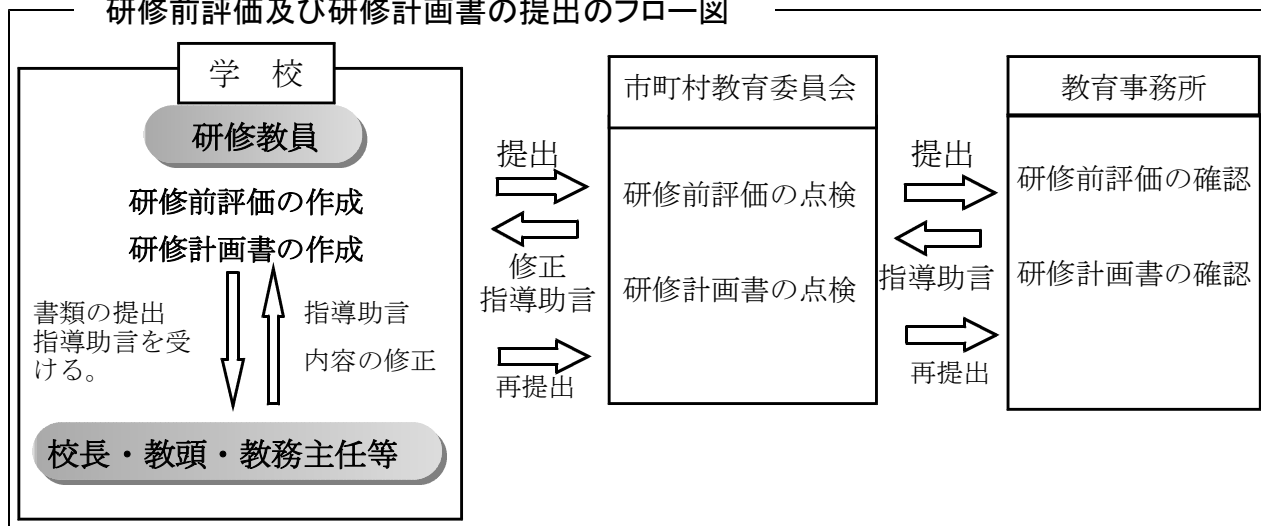
1 評価及び研修計画書の作成等

中堅教諭等資質向上研修などを実施する上で、必要かつ適切な評価及び研修計画書を作成しなければならない。（以下、実施要項参照）

3 能力・適性等の評価、研修計画書等の作成等

- (1) 県教育委員会は教育事務所や市町村教育委員会において実施する中堅教諭等資質向上研修の内容を踏まえつつ、研修教員の能力、適性等について評価を実施するための評価規準を作成する。
- (2) 校長は評価規準に基づいて、研修教員ごとに5月中旬までに「研修前評価」及び「研修計画書」を作成し、市町村教育委員会に提出する。
- (3) 市町村教育委員会は校長から提出された「研修前評価」及び「研修計画書」について、学校と必要な調整を行い決定する。決定後、「研修前評価」及び「研修計画書」を教育事務所に提出する。
- (4) 校長は、研修教員に研修計画書に基づき研修を受けられるよう職務上の命令を発する。
- (5) 校長は、研修修了時に、研修教員ごとに「研修後評価」を作成し、市町村教育委員会に提出する。
- (6) 市町村教育委員会は校長から提出された「研修後評価」に基づき評価を行い、決定後、「研修後評価」を教育事務所に提出する。

研修前評価及び研修計画書の提出のフロー図



2 評価及び研修計画書の作成上の留意点

校長は、研修の実施に当たり、事前に、授業状況等の観察等を通じて、研修教員の能力、適性等について評価を行い、その結果に基づき、研修教員ごとに研修計画書を作成する。そのためには、校長は該当年度の5月中旬までに研修教員の教科指導や生徒指導等の状況を観察・評価しておかなければならない。

研修教員は自己評価を行ない、校長はその評価をもとに当該教諭の意見や希望を参考として聴取し、当該教諭に自らの課題や適性等を再確認させ、研修意欲を喚起する。

評価や研修計画書の作成は、市町村教育委員会の権限と責任において行うべきもので

あり、本人の自己評価や意見等を参考に作成する。

決定した評価や研修計画については、研修教員が、自らの課題を明確に認識して研修に取り組むことが望ましいことから、研修教員に示して説明することが望ましい。

3 中堅教諭等資質向上研修終了時における評価

中堅教諭等資質向上研修後も、引き続き当該教諭等の資質の向上を図っていくため、研修終了時に研修後評価を行い、その結果を当該教諭等に対する今後の指導や研修に活用していく。また、この研修後評価の結果についても、必要に応じて教諭等に示して説明することが望ましい。なお、その評価結果が直ちに勤務評定につながるものではない。

4 評価について

※ 絶対評価で下記の4段階（A B C D）で評価していく。

A	十分満たしている	○必要な水準を上回っている ○一般的な程度以上に優れている
B	満たしている	○標準レベル ○一般的な程度を満たしている
C	やや努力を要する	○必要な水準を下回っている ○あと一步努力すれば標準に達する
D	努力を要する	○水準を大幅に下回っている

5 校内の研修を進めるに当たって

(1) 校内の体制づくり

中堅教諭等資質向上研修は、全職員の理解と指導・協力体制で実施する。特に、校長・副校長・教頭には、校務分掌組織の見直しや、実施状況の把握、指導助言等研修充実の条件整備、さらには、研修教員への直接的指導等、そのリーダーシップの発揮が期待される。

また、各教科等における指導力の優れた教員の選任等、研修に係る組織の充実も肝要である。特に、初任者研修と異なり指導教員や非常勤講師等の加配教員の配置がないことから、授業等の校務に支障がないよう、また、研修時間を十分にとることができるよう、校務分掌等における配慮が必要がある。

(2) 中堅教諭等資質向上研修の基本方針の作成

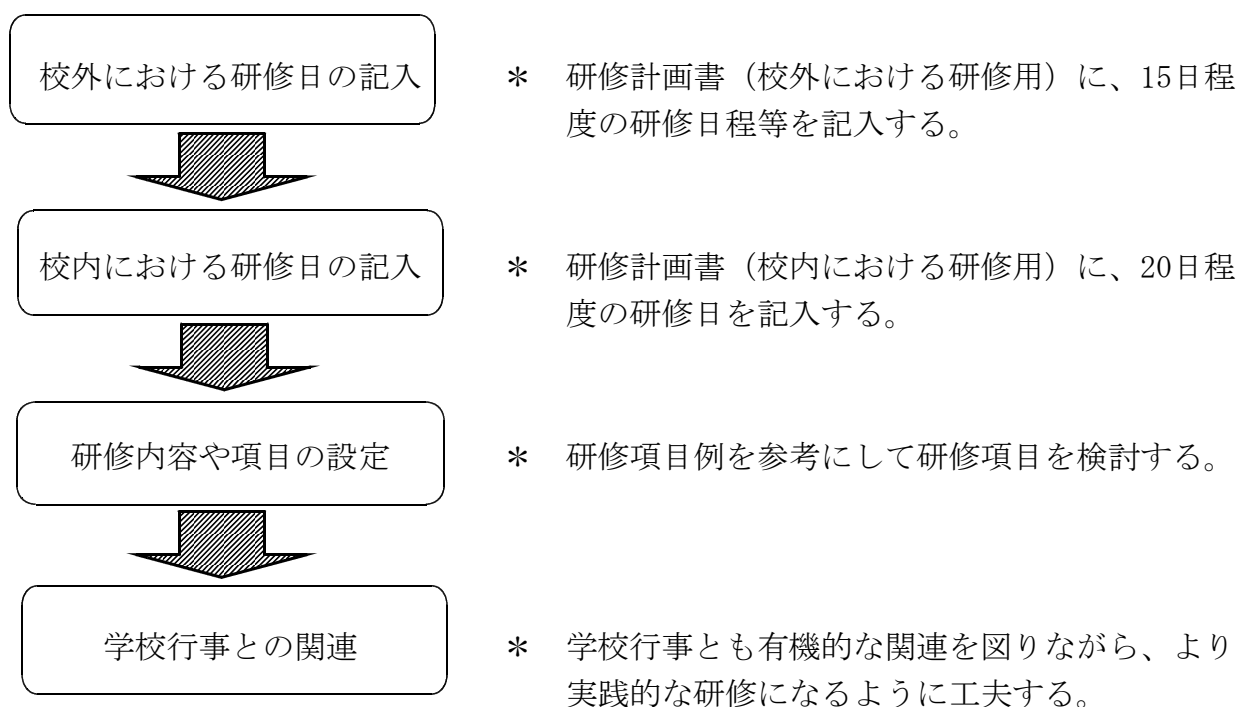
中堅教諭等資質向上研修を効果的に実施するために、本研修の意義及び学校や研修教員の実態を考慮した学校の基本方針を作成し、全職員に周知する必要がある。

(3) 研修計画書の作成

校長は、様式に基づき、教頭、教務主任等の参画を得て、当該学校における校内の研修計画書を作成する。

中堅教諭等資質向上研修が円滑かつ効果的に行われ、十分目的を達成するためには、本研修の意義、目的を踏まえた上で、研修が組織的・計画的に行われるように配慮する必要がある。そして、各学校の日常の教育活動と結びついて校内研修を基盤とすることが大切である。

校内、校外を含めて**35日程度**の研修を確保しなければならない。そこで、研修を円滑に実施するため、次のような手順で研修日を設定する。



Ⅵ 中堅教諭等資質向上研修に係る文書等

1 諸提出物について

(1) 校長は、下記の文書等を市町村教育委員会に提出するものとする。

文 書	提 出 先	部数	提出時期
①研修前評価（様式A-1、またはA-2） ※欄外の記入漏れがないように留意すること。	市町村教育委員会	2 部	5 月下旬
②研修計画書【校内(様式B-1)、校外(様式B-2)】	市町村教育委員会	各 2 部	5 月下旬
③特定課題研究テーマ報告書（様式E）	市町村教育委員会	2 部	8 月中旬
④研修記録簿（様式C）	市町村教育委員会	1 部	3 月上旬
⑤特定課題研究報告書（様式F）	市町村教育委員会	2 部	3 月上旬
⑥研修報告書【校内(様式D-1)、校外(様式D-2)】	市町村教育委員会	各 2 部	3 月上旬
⑦研修後評価（様式A-1、またはA-2） ※5月に作成した「研修前評価」に、「研修後評価」と「研修後の校長所見」欄を書き加え押印して提出。	市町村教育委員会	2 部	3 月上旬

(2) 市町村教育委員会は、下記の文書等を関係教育事務所に提出するものとする。

文 書	提 出 先	部数	提出時期
①研修前評価（様式A-1、または様式A-2）	教育事務所	1 部	6 月初旬
②研修計画書【校内(様式B-1)、校外(様式B-2)】	教育事務所	各 1 部	6 月初旬
③特定課題研究テーマ報告書（様式E）	教育事務所	1 部	9 月上旬
④市町村教育委員会実施研修に係る出席状況報告書（様式自由：出席状況、研修先について）	教育事務所 (電子媒体可)	1 部	9 月中旬
⑤特定課題研究報告書（様式F）	教育事務所	1 部	3 月中旬
⑥研修記録簿（様式C） ※点検終了後、後日学校に返却します。	教育事務所	1 部	3 月中旬
⑦研修報告書【校内(様式D-1)、校外(様式D-2)】	教育事務所	各 1 部	3 月中旬
⑧研修後評価（様式A-1、またはA-2） ※5月に作成したものに、研修後評価と校長所見が記入されているかを確認すること。	教育事務所	1 部	3 月中旬

※研修前・後の評価（A-1、またはA-2）はA-1のみ掲載

2 研修記録簿について

- (1) 研修記録簿は、市町村教育委員会または関係教育事務所が記載事項の点検をするため、随時提出を求める。
- (2) 研修記録簿は、中堅教諭等資質向上研修修了後、学校で**5年間**保管するものとする。
必要に応じ、市町村教育委員会及び教育事務所へ提出を求めることがある。
※5年間の保管期限が終了次第、学校は当該教員へ返却する。
- (3) 研修途中に中断や延期が生じた場合、研修記録簿は、校長の責任のもと学校で管理保管する。

3 その他

- (1) 夏季休業期間の研修の調整について
教育事務所は、「夏季休業期間中の研修」のうち、「教科指導等研修」と「選択研修」の選択内容について、研修教員と調整の上、5月中旬までに決定する。
- (2) 9月以降実施の「授業研究会」日時の調整について
各教育事務所は、「授業研究会」の実施日時等について、関係学校及び関係市町村教育委員会と調整の上、6月中旬までに決定する。
 - 授業研究会の日時の決定
 - 市町村教育委員会指導主事による訪問日と教育事務所指導主事による訪問日の調整・決定
- (3) 研修中断者及び研修延期者の他地区異動に係る教育事務所間の引継について
各教育事務所は、当該年度に研修を延期若しくは中断した者について、2月末日までに氏名及び事由等について整理し、人事異動に際する教育事務所間の引継を円滑に行うようにする。

Ⅶ 研修内容

1 小学校研修項目例 【校内】

	研 修 項 目	必修研修	選択研修	実施時期
共通	学校課題、喫緊の課題	○		課業期間(5～8月)
	学校安全	○		課業期間(5～8月)
	2 日程度 特別支援教育	○		年間を通して実施
教科指導 等研修 11 日程度	国語科研究授業		○	①研究授業においては 課業期間の9月以降 に実施する。 ②教材研究において は、児童の実態把握 や教材の開発等の取 組が可能であるこ とから、課業期間1学 期以降から実施する ことができる。
	国語科教材研究		○	
	社会科研究授業			
	社会科教材研究		○	
	算数科研究授業			
	算数科教材研究		○	
	理科研究授業			
	理科教材研究			
	生活科研究授業			
	生活科教材研究			
	音楽研究授業			
	音楽科教材研究		○	
	図画工作科研究授業			
	図画工作科教材研究			
	家庭科研究授業			
	家庭科教材研究			
	体育科研究授業			
	体育科教材研究			
	外国語科研究授業			
	外国語科教材研究			
	外国語活動研究授業			
	外国語活動教材研究		○	
	総合的な学習の時間研究授業			
	総合的な学習の時間教材研究		○	
	特別支援学級等における自立活動 教材研究			
	特別支援学級等における自立活動 研究授業			
	特別の教科 道徳研究授業			
	特別の教科 道徳教材研究			
	特別活動研究授業	○		
	特別活動教材研究	○		
生徒指導 等研修	生徒指導体制に関する研修	○		課業期間(5～8月)
	不登校に係る事例研究	○		年間を通して
	3 日程度 いじめ等問題行動に係る事例研究	○		〃
特定課題 研修	特定課題研究Ⅰ(テーマ設定)	○		5～8月
	特定課題研究Ⅱ(研究の深化)	○		9～12月
	特定課題研究Ⅲ(研究のまとめ)	○		1～2月
4 日程度	特定課題研究Ⅳ(報告会)	○		年度末

1教科以上を選択
する。

特別の教科 道徳か
特別活動のいずれか
を選択

2 小学校研修項目例【校外】

校外における研修の内容例（P29）や各教育事務所の中堅教諭等資質向上研修計画書（P30～）を参照し、研修計画を組む。

	研 修 項 目	必修研修	選択研修	実施時期
共通 2日 程度	中堅教諭等資質向上研の概要，服務，使命感，安全管理	○		4月～夏季休業期間中
	教育主要施策等（学力向上/生涯学習等）	○		〃
	学校組織マネジメント研修	○		〃
	メンタルヘルス研修	○		〃
	キャリア教育	○		〃
	特別支援教育	○		〃
教科 指導等 研修 6日 程度	国語科指導法	}	○	〃
	社会科指導法			〃
	算数科指導法			〃
	理科指導法			〃
	生活科指導法			〃
	音楽科指導法			〃
	図画工作科指導法			〃
	家庭科指導法			〃
	体育科指導法			〃
	外国語科指導法			〃
	外国語活動指導法			〃
	総合的な学習の時間指導法			〃
	特別の教科 道徳指導法	○		〃
	特別活動指導法	○		〃
生徒 指導等 研修 2日 程度	児童生徒理解・教育相談に関する研修	○		〃
	生徒指導体制に関する研修	○		〃
	児童虐待の実態と対応	○		〃
	不登校問題への対応	○		〃
	いじめ等問題行動への対応	○		〃
選択 研修 2日 程度	（例） 情報教育に関する研修 性の多様性に関する研修 SDGsに関する研修 その他教育課題等	}		長期休業期間 ※市町村教育委員会と 連携して実施 ※P29の選択研修内容 例を参照すること

市町村教育委員会

	研 修 項 目	選択教科	実施時期
社会体 験研修	介護体験、企業体験、奉仕体験等から選択	3日程度	長期休業期間

3 中学校研修項目例【校内】

	研 修 項 目	必修研修	選択研修	実施時期
共通 2 日 程度	学校課題、喫緊の課題	○		課業期間(5～8月)
	学校安全	○		課業期間(5～8月)
	環境整備	○		年間を通して実施
	特別支援教育	○		年間を通して実施
教科 指導等 研修 11 日 程度	国語科研究授業			①研究授業においては課業期間の9月以降に実施する。 ②教材研究においては、生徒の実態把握や教材の開発等の取組が可能であることから、課業期間1学期以降から実施することができる。
	国語科教材研究			
	数学科研究授業		○	
	数学科教材研究		○	
	社会科研究授業			
	社会科教材研究			
	理科学研究授業			
	理科教材研究			
	英語科研究授業			
	英語科教材研究			
	美術科研究授業			
	美術科教材研究			
	音楽科研究授業			
	音楽科教材研究			
	技術家庭科研究授業			
	技術家庭科教材研究		○	
	保健体育科研究授業			
	保健体育科教材研究			
	総合的な学習の時間研究授業			
	総合的な学習の時間教材研究		○	
生徒指導 等研修 3 日程度	特別支援学級等における自立活動教材研究			特別の教科 道徳か特別活動のいずれかを選択
	特別支援学級等における自立活動研究授業			
	特別の教科 道徳研究授業	○		
	特別の教科 道徳教材研究	○		
	特別活動研究授業			
	特別活動教材研究			
	生徒指導体制に関する研修	○		
	不登校に係る事例研究	○		
特定課題 研修 4 日程度	いじめ等問題行動に係る事例研究	○		〃
特定課題 研修 4 日程度	特定課題研究Ⅰ（テーマ設定）	○		5～8月
	特定課題研究Ⅱ（研究の深化）	○		9～12月
	特定課題研究Ⅲ（研究のまとめ等）	○		1～2月
	特定課題研究Ⅳ（報告会）	○		年度末

4 中学校研修項目例【校外】

校外における研修の内容例（P29）や各教育事務所の中堅教諭等資質向上研修計画書（P30～）を参照し、研修計画を組む。

	研 修 項 目	必修研修	選択研修	実施時期
共通 2日 程度	中堅教諭等資質向上研の概要， 服務，使命感，安全管理	○		4月～夏季休業期間中
	教育主要施策等（学力向上、生涯学習等）	○		〃
	学校組織マネジメント研修	○		〃
	メンタルヘルス研修	○		〃
	特別支援教育	○		〃
	キャリア教育	○		〃
教科 指導等 研修 6日 程度	国語科指導法	}	○	〃
	社会科指導法			〃
	数学科指導法			〃
	理科指導法			〃
	英語科指導法			〃
	音楽科指導法			〃
	技術家庭科指導法			〃
	美術科指導法			〃
	保健体育科指導法			〃
	総合的な学習の時間指導法			〃
生徒 指導等 研修 2日 程度	特別の教科 道徳指導法	○		〃
	特別活動指導法	○		〃
	児童生徒理解・教育相談に関する研修	○		〃
	生徒指導体制に関する研修	○		〃
	児童虐待の実態と対応	○		〃
選択 研修 2日 程度	不登校問題への対応	○		〃
	いじめ等問題行動への対応	○		〃
	（例） 情報教育に関する研修	}	○	長期休業期間 ※市町村教育委員会 と連携して実施 ※P29の選択研修内容 例を参照すること
	性の多様性に関する研修			
	SDGsに関する研修			
	その他教育課題等			

市町村教育委員会

	研 修 項 目	選択教科	実施時期
社会体 験研修	介護体験、企業体験、奉仕体験等から選択	3日程度	長期休業期間

5 校外における研修の内容例

(1) 共通研修(2日程度)	(2) 教科指導等研修(6日程度)	(3) 生徒指導等研修(2日程度)	(5) 選択研修(2日程度)
① 服務、使命、役割、安全管理等 イ 教育公務員としてのあり方 ・ 服務、義務 ・ 教職観の涵養 ・ 研修と職能成長 ・ 校内研修・研究の参画・推進 ・ 義務と給与 ・ 人事異動 ロ 子どもの人権 ・ 体罰と懲戒 ハ ベテラン教師に望むこと ・ 中堅教員として学校で期待される役割と研修 ニ 安全管理体制・事故防止 ・ 個人情報保護法と危機管理 ・ 緊急対応マニュアル事例 ・ 点検場所・項目事例 ・ 安全点検実施方法事例 ・ 防災研修(地震・津波等)	① 各教科 イ 基礎技術に関する研修 ・ 教科指導の基礎技術 ロ 授業づくりと実践に関する研修 ・ 指導案の作成 ・ 教材研究の方法と実際 ・ 教材・教具等の作成と活用 ・ 授業の診断と記録の分析 ・ テストの作成と評価のあり方 ・ 個に応じた指導方法 ・ 教科指導と情報機器の活用 ・ 学習指導と評価の要点 ハ 観察授業に関する研修 ・ 示範授業等の観察授業の視点 ・ 示範授業参観 ニ 授業研究に関する研修 ・ 授業研究(模擬授業等) ホ その他 ・ 習熟の程度に応じた指導の実際 ・ 発展的な学習、補充的な学習	① 教育相談 イ 教育相談の意義 ロ 教育相談に係る研修等 ・ 個別相談に係る事項 ・ エンカウンター、ロールプレイングなどに係る事項 ハ 児童生徒理解を推進する教育相談の実施 ・ 定期相談の計画、実施 ・ 不定期の教育相談の計画、実施 ・ 教育相談実施後の適切な対応	① 特別支援教育に関する研修 イ 特別支援教育の制度と具体的な取組 ・ 特別支援教育の推進、現状と課題、対応策(協議) ・ 軽度発達障害児(LD、ADHD等)への理解と支援のあり方 ロ 特別支援学級の実施と全体構想 ・ 校内外の交流教育 ・ 授業展開の実際例 ※選択研修として実施してもよい
② 沖縄県教育振興計画 イ 沖縄県教育推進計画の概要 ロ 学力向上対策の取組 ・ 地区学対の現状と課題 ・ 指導の努力点等 ハ 生涯学習社会と学校教育の役割 ・ 多様な学習の場の創出と学習意欲の育成 ・ 開かれた学校づくりの推進 ・ 学社融合の実際 ・ 学校・家庭・地域との連携	② 特別の教科 道徳 イ 道徳教育の基礎的理解に関する研修 ・ 道徳教育の目標や意義 ・ 道徳教育改善の基本方針 ・ 道徳教育の諸計画の意義とその作成 ・ 他教科領域等における道徳教育 ロ 道徳の時間の指導に関する研修 ・ 道徳の主題と資料について ・ 道徳における評価 ・ 示範授業参観 ・ 指導案作成と授業研究(模擬授業等) ハ 体験活動を生かした心に響く道徳教育の教材開発	② 児童生徒理解 イ 児童生徒理解の意義(目的、方法、子ども観、人間観、期待感) ロ 児童生徒理解の実際 ・ 個別指導記録簿を活用した児童生徒理解 ・ スクールカウンセラーなど専門的人材を生かした児童生徒理解や発達課題等に係る基礎事項の理解 ○ 家庭環境、人間関係が及ぼす影響等と児童生徒の実情 ○ 教師自身の自己理解 ハ 児童虐待の実態と対応 ・ 児童相談所との連携 ・ ブリーフカウニングによる対応	② 食に関する指導の研修 イ 食に関する指導の必要性 ロ 食育推進計画の作成 ハ 食育推進体制の整備 ニ 生きた教材としての学校給食
③ 学校組織運営 イ 学校組織マネジメント ・ 組織マネジメントの概要 ・ 組織経営面のマネジメント ・ 自己成長のマネジメント ・ 対人関係のマネジメント ・ 業務遂行面のマネジメント ロ 学校の組織運営 ・ 関係法令と学校組織 ・ 校務分掌とその機能、教育環境の整備 ・ 開かれた学校づくり ハ 教育課程 ・ 学力向上に向けた特色ある教育課程の編成 ・ 柔軟で創意工夫ある編成 ニ 学校評価 ・ 教育目標、実施、評価(P・D・C・A) ・ 学校評議員制度 ・ 学校評価の方法・内容・改善 ※「運営、評価の視点」で実施。	③ 外国語活動 外国語活動に関する研修 ・ 外国語活動の趣旨 ・ 外国語活動の実践例 ・ 外国語活動の評価について	③ 生徒指導体制 イ 生徒指導の意義 ・ 基本的な生活習慣の育成を目指した機能としての生徒指導 ・ 教師と児童生徒、児童生徒相互の信頼関係の確立を生かした児童生徒の問題行動の未然防止 ・ 学校における児童生徒理解推進体制の整備に係る事項 ○ 地域の実情把握 ◆ 地域の特徴(よさと課題)把握 ◆ 地域人材及び地域に存在する関係機関などの整理 ○ 基礎資料の整理 ◆ 暴力、いじめ、不登校等に係る資料を踏まえた課題の整理 ◆ 地域及び関係機関と連携した課題への対応策の整理 ○ 校内の情報連携及び行動連携による対応の充実 ◆ 児童生徒理解の充実 ◆ 生徒指導の役割、連携の推進 ◆ 校内及び関係機関の人材活用等による適切な指導・支援の実際 ロ 体罰防止ハンドブックの活用	③ 情報教育に関する研修 イ 教科等におけるPC活用の充実 ・ Web教材(デジタルコンテンツ)の活用、教育情報共有システムの活用による授業実践及び教材開発 ロ 情報モラルの育成 ・ 個人情報の取扱とプライバシーの保護 ・ 著作権と知的所有権 ハ 情報管理とセキュリティ対策 ・ ネットワークの利用とファイル管理
④ キャリア教育に関する研修 イ キャリア教育の理解、意義、身に付けたい4つの力 ロ 発達段階に応じた内容、進め方 ニ 体験(職場見学、職場体験)を通じたキャリア教育 ・ 年間計画に位置付けた職場体験 ・ 事前事後指導のあり方 ・ 実践事例 ホ キャリア教育の教育課程への位置づけ ヘ キャリア教育と進路指導	④ 総合的な学習の時間 イ 趣旨・ねらいに関する研修 ・ 総合的な学習の時間の趣旨 ・ 総合的な学習の時間のねらい ロ 全体計画の作成に関する研修 ・ 総合的な学習の時間の全体計画 ハ 学習活動の進め方に関する研修 ・ 内容の決定 ・ 年間指導計画 ・ 指導案作成と授業研究(模擬授業等) ニ その他 ・ 教科等との関連 ・ 育む資質能力の明確化と具現化 ・ 保護者や地域との協力・連携	④ いじめ・不登校 イ 学校、学年、学級活動における問題行動及び不登校の現状把握に係る事項 ロ 児童生徒理解を生かした当該児童生徒の実情把握と必要な指導・支援の見極め ハ 校内人材、地域・関係機関団体と連携した行動連携の計画、実施 ニ 問題行動及び不登校への対応の充実のための研修(事例研究、ワークショップ等) ホ 沖縄県いじめ防止基本方針の活用	④ 国際理解教育に関する研修 イ JICA、ODAの現状と課題 ・ 開発教育支援プログラム ・ 国際理解教育で大切なこと ロ 「英語が使える日本人」の育成 ・ 総合的な学習の時間の国際理解の事例研究(小学校英語活動含む) ・ 国際理解教育と各教科との関連
⑤ 特別支援教育に関する研修 イ 特別支援教育の制度と具体的な取組 ロ 特別支援学級の実施と全体構想	⑤ 特別活動 イ 特別活動の意義 ・ 特別活動の目標・内容・特質 ロ 特別活動の指導計画と授業の実際 ・ 全体の指導計画と年間指導計画 ・ 指導計画の作成と授業の実際 ・ 学級活動の指導計画と授業の実際 ハ 学級活動の指導と評価の工夫改善 ・ 学級活動の指導と評価の工夫 ・ 係の活動の指導と評価の工夫 ・ 集会の活動の指導と評価の工夫 ニ 児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の指導と評価の工夫改善 ・ 児童会活動、生徒会活動 ・ クラブ活動 ・ 学校行事 ・ 集団宿泊体験 ホ 進路の学習、進路指導	(4) 社会体験研修(3日程度) ◎ 社会福祉施設、社会教育施設、民間企業等における体験研修 ・ 介護体験・福祉活動等 ・ 民間企業(製造、販売、接客等)	⑤ 環境教育に関する研修 イ 環境教育の現状と課題を踏まえた全体計画のあり方 ロ 環境教育にかかわる各教科等の関連 ハ 環境教育プログラム小・中編(沖縄県発行)を活用した演習 ニ 事例研究 ○ 野生生物、生態系観察(実習) ○ 環境汚染の要因と浄化(実習) 例: バックテスト、透明度テスト
⑥ 教職員の心の健康づくり ・ メンタルヘルス(外部講師招聘) ・ 教師の仕事とやりがい(講話等)			⑥ 地域教育資源を活用した研修 ・ 図書館、博物館、美術館等の活用
			⑦ その他教育課題等に関する研修 イ 国語力向上に向けた教育の推進 ロ カリキュラムマネジメント ハ コーチングの手法 ニ その他 ・ 金銭教育、消費者教育 ・ 平和教育 ・ 人権教育 ・ 科学技術 ・ SDGs

6 令和5年度各教育事務所研修計画（校外における研修）

（国頭教育事務所）

No.	月	日	曜	時間	研修名	研修内容	研修場所	実施形態	講師	備考 旅費、報償費等
1	5	10	水	13:45～16:45 (3時間)	共通①	①開講式 ②沖縄県教育主要施策 ③服務、危機管理等 ④中堅研の概要	国頭教育事務所	講義、演習	所長、指導班長 人事主幹 指導主事	参集研修
2	6	6	火	13:45～16:45 (3時間)	教科指導①	①授業づくりについて ②学習指導と評価について ③特定課題研究の進め方	国頭教育事務所	講義、演習 協議	事務所指導主事	オンライン研修 (Zoom)
3	7	4	火	13:45～16:45 (3時間)	選択①	特別支援教育について	小中学校	講義・演習	臨床心理士	オンライン研修
4	7	27	木	9:00～12:00 (3時間)	選択②	性の多様性について	名護市 青少年の家	講義、演習 協議	レインボープロジェクト 竹内清文氏	参集研修
5	7	27	木	13:45～16:45 (3時間)	選択②	①子どもの貧困問題 ②国際理解教育と各教科との関連(SDGs)	名護市 青少年の家	講義、演習 協議	義務教育課主事 生涯学習振興課主事・講師	参集研修
6	7	28	金	9:00～12:00 (3時間)	選択③ 生徒指導①	①児童生徒理解について ②生徒指導について	国頭教育事務所	講義、演習 協議	事務所指導主事	参集研修
7	7	28	金	13:45～16:45 (3時間)	教科指導③	①各教科の指導案について ②特定課題研究・検証授業について ③授業研究	国頭教育事務所	協議	事務所指導主事	参集研修
8	8月1日～ 8月25日				共通②	①防災教育 ②メンタルヘルス	各学校	オンデマンド	事務所指導主事	オンデマンド研修
9	9	6	水	13:45～16:45 (3時間)	教科指導④	①道徳科・特別活動代表授業 ②授業研究会 ③講義	小中学校	代表授業 協議	事務所指導主事	参集研修
10				終日(2日間)	社会体験研修	①社会福祉施設 ②社会教育施設 ③民間企業等における体験研修	各研修場所	実施体験	市町村教育委員会 指導主事等	参集研修
11										
12										
13	2	21	火	13:45～16:45 (3時間)	教科指導⑤	①特定課題研究報告会 ②開講式	国頭教育事務所	講義、演習	事務所指導主事	参集研修

（中頭教育事務所）

No.	月	日	曜	時間	研修名	研修内容	研修場所	実施形態	講師	備考 旅費、報償費等
1	4	24	月	14:00～16:45	共通研修①	①開講式 ②所長講話 ③服務及び使命 ④研修の概要	中頭教育事務所	講義 【参集型】	所長 指導班長 人事主幹 主任指導主事	
2	5	9	火	5/9～5/23	教科研修① 生徒指導①	特定課題研究の進め方 いじめ、不登校への対応	各所属校	講義 【オンデマンド】	担当指導主事	
3	5	30	火	14:00～16:45	教科指導②	特定課題研究における授業 づくり	中頭教育事務所	講義・演習 【参集型】	琉球大学教育学研究 科 教授 道田泰司 氏	琉大アドバイザー派遣 事業 【旅費】
4	6	12	月	14:00～16:45	選択研修①	○特別支援教育 ○キャリア教育	中頭教育事務所	講義・演習 【オンライン】	講師 担当指導主事	報償費・旅費
5	6	27	火	14:00～16:45	共通研修② 選択研修③	○メンタルヘルス ○国際理解教育(SDGs)	中頭教育事務所	講義・演習 【オンライン】	臨床心理士 生涯学習振興課	報償費・旅費
6	7	4	火	7/4～7/18	教科指導③	特別活動 道徳授業づくり	各所属校	講義 【オンデマンド】	担当指導主事	
7	7	31	月	14:00～16:45	共通研修③	【OIST施設見学】 ・OIST概要説明 ・キャンパスツアー	沖縄科学大学院大学 OIST	講義 実地体験 【参集型】	OIST職員	
8	8			終日	社会体験 研修①②	各市町村教育委員会主催	各会場	実地体験	各市町村教育委員 会担当指導主事	
9	8									
10	8	3	木	9:00～12:00	生徒指導②	生徒指導の意義 教育相談・児童生徒理解	各所属校	講義・演習 【オンライン】	担当指導主事	初任者と合同
11	8	3	木	14:00～16:45	教科指導④	校内OJTの実践 (初任者模擬授業指導案検討会【道徳】)	各所属校	講義・演習 【オンライン】	担当指導主事	
12	8	15	火	9:00～12:00	教科指導⑤	検証授業指導案検討会	中頭教育事務所	協議・演習 【参集型】	主任指導主事 指導主事	
13	2	28	水	14:00～16:45	教科指導⑥ 共通研修④	特定課題研究報告会 閉講式	中頭教育事務所	講義・演習 【参集型】	所長 指導班長 主任指導主事 指導主事	

(那覇教育事務所)

No.	月	日	曜	時間	研修名	研修内容	研修場所	実施形態	講師	備考 旅費、報償費等
1	4	19	水	14:00～16:45 (2時間45分)	共通①	【開講式(所長講話・研修者代表挨拶)】 ①教職員の身分と服務 ②県主要施策・管内教育の推進等説明 ③研修概要説明＋代表授業者選定	那覇教育事務所	講義 (参集)	所長 指導班長 主幹 指導主事 等	
2	5	12	金	14:00～16:45 (2時間45分)	教科① 共通② 生徒指導①	①授業改善 ②道徳科・学級活動授業 ③特別支援教育・児童生徒理解 ④特定課題研究の進め方Ⅰ ⑤グループ研究＋社会体験研修	那覇教育事務所	講義 (参集)	指導主事 大平特別支援学校職員 浦添市教育委員会 指導主事	講師依頼(報償費なし)
3	6	22	木	14:00～16:45 (2時間45分)	教科②	①道徳科代表授業(小中別グループ) ②授業研究会	浦添市内小中学校	代表授業・ 協議 (参集)	指導主事	初任者研修と合同開催
4	7	6	木	14:00～16:45 (2時間45分)	教科③	①学級活動代表授業(小中別グループ) ②授業研究会	浦添市内小中学校	代表授業・ 協議 (参集)	指導主事	初任者研修と合同開催
5	7	24	月	8:45～11:30 (2時間45分)	生徒指導②	①管内における生徒指導の状況 ②SNSトラブルへの対応 ③子供の貧困対策における学校と福祉の連携	那覇教育事務所	講義 (オンライン)	指導主事 外部講師 (少年サポートセンター) 義務教育課指導主事	講師依頼(報償費なし)
6	7	24	月	14:00～16:30 (2時間30分)	選択①	①沖縄県の平和教育	平和記念資料館	講義・協議 (参集)	平和記念資料館学 芸員	講師依頼(報償費なし) 初任者研修と合同開催
7	7	27	木	9:00～12:15 (3時間15分)	共通③ 選択②	①性の多様性 ②キャリア教育 ③SDGs(オンデマンド研修)	那覇教育事務所	講義・演習 (参集)	指導主事 外部講師	講師依頼(報償費あり) 報償費8,000円×2名 旅費400円＋880円 初任者研修と合同開催
8	7	27	木	13:15～16:30 (3時間15分)	教科④	①道徳資料分析と授業づくり ②学級活動の授業づくり ③道徳科・学級活動授業プランシート作成 (選択・小中別)	那覇教育事務所	講義・演習 (参集)	指導主事	初任者研修と合同開催
9	夏季休業中			終日 (2日間)	社会体験研	★浦添市内こども園等における実施研修	浦添市内 こども園等	体験	各事業所関係者	
10										
11	8	15	火	9:00～12:00 (3時間)	共通④	①防災教育 ②教職員のメンタルヘルス	那覇教育事務所	講義・演習 (参集)	生涯学習振興課 外部講師(SC)	講師依頼(報償費あり) 報償費8,000円×1名 旅費400円
12	8	15	火	13:00～16:30 (3時間30分)	教科⑤	①特定課題研究テーマ検討会 ②研究授業に係る指導案等検討会 ③特定課題研究の進め方Ⅱ	那覇教育事務所	講義・協議 (参集)	指導主事 浦添市教育委員会 指導主事	
13	2	6	火	14:00～16:45 (2時間45分)	教科⑥	①特定課題研究報告会 【閉講式(所長講話＋研修者代表挨拶)】	那覇教育事務所	講義・協議 (参集)	所長 指導班長 指導主事 等	

(那覇市：那覇市立教育研究所)

No.	月	日	曜	時間	研修名	研修内容	研修場所	実施形態	講師	備考 旅費、報償費等
1	4	26	水	14:00～16:45 (2時間45分)	共通研修	①開講式 ②講話 ③服務 ④個人情報保護法 ⑤研修内容の説明	中央公民館	講義	教育長 所長 指導主事	
2	5	10	水	14:30～16:45 (2時間15分)	教科指導等研修	①特定課題研究の進め方 ②特定課題研究実践事例発表 ③道徳科のすすめ方 ④特別活動のすすめ方 ⑤代表授業話し合い(各グループ)	オンライン	講義、協議	実践発表者 指導主事	
3	5	17	水	14:15～16:45 (2時間30分)	教科指導等研修	①沖縄県主要施策等 ②特別支援教育 ③児童虐待の実態と対応 ④代表授業話し合い(各グループ)	中央公民館	講義、協議	子育て応援課主査 指導主事	
4	6	21	水	13:30～16:30 (3時間)	教科指導等研修	①道徳科代表授業(小中別) ②授業研究会	市内小中学校	演習、協議	指導主事	
5	7	10	月	13:30～16:30 (3時間)	教科指導等研修	①特別活動代表授業(小中別) ②授業研究会	市内小中学校	演習、協議	指導主事	
6	7	21	金	14:15～16:30 (2時間15分)	共通研修 選択研修	①教職員のメンタルヘルス ②教育相談課との連携 ③特定課題研究テーマ検討会	若狭公民館	講義、演習、 協議	教育相談課 主幹 指導主事	
7	8	1	火	終日	社会体験 研修	社会福祉施設等における研修 (市内公共施設で実施予定)	各事業所等	実地研修	指導主事 各事業所担当者	
8	8	2	水							
9	8	15	火	9:30～12:15 (2時間45分)	選択研修	①LGBT(人権教育)について ②防災教育について	中央公民館	講義	外部講師	報償費 4,000円
10	8	15	火	13:00～16:45 (3時間45分)	共通研修 選択研修	①SDGsについて ②那覇市における保幼小中連携について ③情報教育について ④特定課題研究について	中央公民館	講義、演習	指導主事 外部講師	旅 費 2,360円
11	8	18	金	9:30～12:15 (2時間45分)	生徒指導等研修	①教育相談・児童生徒理解 ②那覇市における生徒指導等 ③子どもの貧困問題	若狭公民館	講義・協議	指導主事 教育相談課主幹	
12	8	18	金	13:00～16:45 (3時間45分)	共通研修	①キャリア教育 ②学校組織マネジメント	若狭公民館	講義	外部講師 指導主事	旅 費 2,360円
13	2	2	金	14:00～16:45 (2時間45分)	共通研修 教科指導等研修	①ミドルリーダーについて ②特定課題研究報告会 ③閉講式	若狭公民館	講義・協議	教育長 所長 外部講師 指導主事	報償費 5,000円

(島尻教育事務所)

No.	月	日	曜	時間	研修名	研修内容	研修場所	実施形態	講師	備考 旅費、報償費等
1	4	25	火	14:00～16:45 (2時間45分)	共通研修① 選択研修①	①開講式 ②服務・規律、使命・役割 ③学校組織マネジメント ④平和教育	各小中学校・園	講義 協議 ※オンライン	所長・指導班長 人事主幹 指導主事 外部講師	
2	5月22日(月)～6月2日(金)				共通研修② 教科指導①	①沖縄県主要施策等 ②課題研究実践発表 ③特定課題研究の進め方	各小中学校	講義 ※オンデマンド	指導主事	
3	6	28	水	14:00～16:45 (2時間45分)	生徒指導①	①生徒指導の意義 ②いじめ、不登校等への対応 ③子供の貧困対策	島尻教育事務所	講義 協議	指導主事 外部講師	沖縄県貧困対策事業を 活用
4	7	31	月	9:00～12:00 (3時間)	共通研修③	①キャリア教育	島尻教育事務所	講義 協議 演習	指導主事 外部講師((株)ジョイオブク リエーション座敷氏)	報償費 旅費
5				13:15～16:45 (3時間30分)	共通研修④ 教科指導②	①メンタルヘルス ②特定課題研究・検証授業検討会	島尻教育事務所	講義 協議 演習	外部講師 指導主事	報償費 旅費
6	8	1	火	9:00～12:00 (3時間)	選択研修②	①特別支援教育	各小中学校	講義 協議 演習 ※オンライン	指導主事 外部講師	県立総合教育センターと 連携(旅費)
7	8月1日(火)～8月4日(金)				選択研修③ 選択研修④	①SDGs ②幼小連携	各小中学校	講義 ※オンデマンド	指導主事	生涯学習振興課と連携 (旅費)
①	8			終日	社会体験研修①	民間企業、社会福祉施設等における研修	各研修場所	実地研修	各市町教育委員会 担当指導主事 外部講師	
②	8				社会体験研修③					
8	8	15	火	9:00～12:00 (3時間)	教科指導③ 教科指導④	①特別活動 ②道徳授業づくり	島尻教育事務所	講義 協議 演習	指導主事	
9	8	15	火	13:15～16:45 (3時間30分)	生徒指導② 選択研修⑤	①教育相談、児童生徒理解 ②性の多様性、LGBT	島尻教育事務所	講義 協議 演習	指導主事 外部講師(レインボー ハートokinawa竹内氏)	報償費 旅費
10	2	9	金	13:30～16:45 (3時間15分)	教科指導⑤	①特定課題研究報告会	各小中学校・園	演習 ※オンライン	指導主事 指導主事補等	
11	2	27	火	15:30～16:45 (1時間15分)	共通研修⑤	①所長講話 ②閉講式	糸満青少年の家	講義	所長・指導班長 指導主事 関係学校長	

(宮古教育事務所)

No.	月	日	曜	時間	研修名	研修内容	研修場所	実施形態	講師	備考 旅費、報償費等
1	4	25	火	13:45～16:45 (3時間)	共通研修①	開講式 ①中堅教諭に望むこと ②教職員の服務と責任 ③魅力ある学校づくり ④研修の概要説明	宮古教育事務所	講話 講義・演習	教育事務所長 指導班長 人事主幹 担当指導主事	
2	5	23	火	13:45～16:45 (3時間)	教科指導等研修①	①授業づくりと実践に関する研修 ②特定課題研究の進め方 ③特定課題研究実践発表	宮古教育事務所	講義、演習、 協議	指導班長 各担当指導主事	
3	6	2	金	13:45～16:45 (3時間)	共通研修②	①キャリア教育に関する研修	宮古教育事務所	講義、演習、 協議	義務教育課キャリア 教育担当主事	キャリア形成促進事業研 修会と合同開催
4	7	14	金	13:45～16:45 (3時間)	教科指導②選択研 修①	①外国語活動 ②国際理解・開発教育 (ESD、SDG's)	宮古教育事務所	講義、演習、 協議	担当指導主事 県総合教育センター 担当指導主事	移動教育センター講座と 合同開催
5	7	25	火	13:45～16:45 (3時間)	社会体験研修①	①宮古島市エコアイランドの取組について(関連 施設見学)	各研修場所	見学、講話、 協議	宮古島市教育委員会 中堅研担当主事	
6	7	26	水	終日	社会体験研修②③	①民間企業・社会福祉施設等における研修	各社会体験研修場所	社会体験	宮古島市教育委員 会中堅研担当主事	各自で受け入れ事業所 選択
7	7	27	木							
8	7	31	月	9:00～12:00 (3時間)	教科指導等研修③	①道徳教育について	宮古教育事務所	講義、演習、 協議	事務所指導主事 中堅研担当主事	
9	7	31	月	13:45～16:45 (3時間)	教科指導等研修④ 生徒指導等研修①	①特別活動について ②児童生徒理解	宮古教育事務所	講義、演習、 協議	事務所指導主事 中堅研担当主事	
10	8			9:00～12:00 (3時間)	教科指導等研修⑤	①総合的な学習の時間 ②教科等との関連、人的・物的教育資源の活用 等	宮古教育事務所	講義、演習、 協議	事務所指導主事 中堅研担当主事	
11	8			13:45～16:45 (3時間)	共通研修③	メンタルヘルス研修	宮古教育事務所	講義、演習、 協議	事務所指導主事 中堅研担当主事	講師招聘 初任研と合同
12	8	4	金	終日	選択研修②	福井大学連合教職大学院 とのディスカッション (ラウンド・テーブル)	宮古島市役所講堂	講義、演習、 協議	福井大学院スタッフ	宮古島市教育研究所との 合同研修会
13	8	22	火	9:00～12:00 (3時間)	生徒指導等研修②	①生徒指導体制 ②いじめ、不登校、問題行動等	宮古教育事務所	講義、演習、 協議	事務所指導主事 中堅研担当主事	
14	8	22	火	13:45～16:45 (3時間)	共通研修④	特別支援教育に関する研修	宮古教育事務所	講義、演習、 協議	外部講師	宮古地区発達障害研修 と合同開催
15	2	20	火	13:45～16:45 (3時間)	共通研修⑤	課題研究発表 講話 閉講式	宮古教育事務所	報告会 講話	教育事務所長 指導班長 中堅研担当主事	

No.	月	日	曜	時間	研修名	研修内容	研修場所	実施形態	講師	備考 旅費、報償費等
1	4	14	金	13:45～16:45 (3時間)	共通研修①	①開講式 ②所長講話 ③教育主要施策 ④服務 ⑤研修の概要	八重山教育事務所	講義	所長 指導班長 人事主幹 中堅研担当主事	
2	4	28	金	13:45～16:45 (3時間)	教科指導① 教科指導②	①授業づくり ②特定課題研究について	八重山教育事務所	講義、演習 協議	指導主事等 中堅研担当主事	
3	7	13	木	13:45～16:45 (3時間)	選択研修① 教科指導③	①国際理解・開発教育ESD、SDGsについて ②検証授業について	八重山教育事務所	講義、演習 協議	総合教育センター主 事	移動教育セ講座と合同 開催
4	7	26	水	終日	社会体験 研修	特産物製造、民間企業における体験研修	各研修 場所	実地体験	市町村教育委員会 担当主事	
5	7	27	木							
6	8	2	水	13:45～16:45 (3時間)	教科指導④ 共通研修②	①授業づくり(特別活動・総合) ②魅了ある学校づくり	八重山教育事務所	講義、演習 協議	指導主事等 中堅研担当主事	
7	8	3	木	9:00～12:00 (3時間)	生徒指導① 生徒指導②	①子供の貧困対策 ②生徒指導	八重山教育事務所	講義、協議	外部講師 担当主事	
8	8	3	木	13:45～16:45 (3時間)	共通研修③	①特別支援教育について	八重山教育事務所	講義、協議	外部講師	地区発達障害研と合同 開催
9	8	4	金	9:00～12:00 (3時間)	共通研修④	①専門学科施設見学及び体験	八重山地区高等学校	講義、実地体 験	外部講師 中堅研担当主事	
10	8	4	金	13:45～16:45 (3時間)	教科指導⑤	①道徳教育について	八重山教育事務所	講義、演習 協議	外部講師	道徳パワーアップ研と合 同開催
11	9	12	火	13:45～16:45 (3時間)	共通研修⑤ 教科指導⑥	①メンタルヘルス研修 ②特定課題研究情報共有	八重山教育事務所	講義、演習 協議	外部講師 中堅研担当主事	報償費 旅費
12	9	26	火	13:45～16:45 (3時間)	選択研修②	①情報教育について ②環境教育について	実施会場	講義、演習 協議	市町教育委員会担 当主事	
13	2	9	金	13:45～16:45 (3時間)	教科指導⑦	①特定課題研究報告会 ②開講式	八重山教育事務所	研究発表	所長 指導班長 中堅研担当主事	